

# 令和7年度の実績と今後の取組

## 1 認知症の理解と知識の普及啓発

### (1) 認知症の理解を深めるための普及啓発の推進

#### ①認知症サポーター養成講座の実施

- ・令和7年度…開催数：28回 サポーター養成人数：693人（R8年1月末時点）  
金融機関、地域のサロン、小・中学校などで開催
- ・集合型講座の開催  
受講希望者が1人で参加可能（9月、1月開催）  
参加人数：68人
- ・認知症サポーター数：累計22,639人（R8年1月末時点）  
（うち、子どもサポーター：4,919人）



夏休み 親子参加で開催（豊岡）

#### ②キャラバン・メイトの活動支援

- ・キャラバン・メイト連絡会を開催（8月）
- ・静岡県キャラバン・メイト養成研修を本市で開催（2月）  
磐田市の受講者 7名

#### ③認知症地域支援推進員の配置

- ・新たに2名が研修を受講し、地域包括支援センターに10名配置
- ・隔月で推進員連絡会を行い、情報共有や事例検討を実施
- ・認知症サポート医との交流会を実施予定（3月予定）

#### ④認知症の理解促進に向けた地域での普及啓発事業

- ・認知症フォーラム、講座等（主なもの）
  - 中泉地区認知症フォーラム 6月21日（土）開催  
「もっと楽しく 笑って認知症予防！」石田竜生氏講演会
  - 市主催認知症フォーラム—令和7年度 人権教育講演会— 11月29日（土）開催  
映画『オレンジ・ランプ』上映会、「認知症の私からみえる社会」若年性認知症当事者  
丹野智文氏講演会



◎参加者 344人（70歳以上 52.3%）

◎アンケート結果

「認知症のイメージが変わった」… 91%

「認知症を自分事として考えた」… 99%

「認知症にやさしいまちづくりに協力したい  
と思った」… 100%

○見付地区認知症フォーラム 10月18日（土）開催

「認知症予防講座」あんざいクリニック 安齋医師

## ○認知症カフェの開催

認知症のこと、認知症の方の介護のことなど、日頃の悩みや心配ごとを気軽に相談したり、話し合える場所。

- ・開催数：29回（R8年1月末時点）
- ・小中学生や高校生など、子どもたちとの交流会も開催

## ○認知症月間（9月）の取組

- ・市役所・図書館（中央・にこっと・福田・豊岡）で啓発展示
- ・今之浦公園・かたりあのライトアップ
- ・iプラザで音楽イベントを開催  
「笑顔でつながろう～歌声をタスキに～」をテーマに、  
地域包括支援センター、医療・介護の専門職が主催



## (2) 認知症の進行段階に合わせた医療・介護の提供

### ①認知症疾患医療センター（磐田市立総合病院）、市内認知症サポート医との連携を推進

- ・認知症地域支援推進員連絡会においてサポート医との交流会を実施（3月予定）

### ②いわた認知症ハンドブックの活用

- ・認知症への正しい理解と、早期に相談・受診につなげるために、  
基本知識や相談先などを記載したパンフレット。（R5に改訂）
- ・本人・家族向けに医療機関、地域包括支援センター窓口などで配布。



### ③認知症安心ガイドの活用

- ・認知症への理解を広めるとともに、自分や家族が  
認知症になったときの不安を少しでも軽減できるように
- ・交流センター、図書館、医療機関、地域包括支援センターなどに配架



## (3) 認知症予防の推進

### ①継続的な認知症予防活動の普及

- ・社会参加により認知機能の維持を図る

○いきいき百歳体操：111団体（R7年3月末時点）

※筋力・口腔機能・認知機能の維持・向上などの効果が  
期待され、交流センター等で週1回実施

○シニアクラブ：91団体（R7.3月末時点）

○高齢者サロン：176団体（R7.3月末時点）

- ・いきいき百歳体操交流会の開催（6月）

「しゃきしゃき百歳体操で認知機能の維持・向上をめざそう」をテーマに実施



### ②認知症の方やその家族の集いの場の普及

- ・認知症カフェ（再掲）
- ・家族介護者交流会：8回（地域包括支援センターを中心に事業所や地域住民と協働して開催）

## 2 認知症の人とその家族への支援

### (1) 若年性認知症当事者、家族の交流の場の提供

若年性認知症家族交流会の開催（9月・2月）

- ・当事者 57～70 歳、MCI～要介護 2 の家族が参加
- ・若年性認知症の介護の大変さや葛藤、苦悩が多く共有され、周囲に理解されにくく相談できずに抱え込みやすい状況

### (2) 認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりの推進

#### ①「認知症の人に優しいお店」認定制度の創設（R8年4月開始予定）

認知症の方やそのご家族が気兼ねなく外出できるよう、認知症への理解を深めたお店を認定する制度

- ・スーパー・ドラッグストア・金融機関に聞き取りを実施し要綱を作成
- ・認証店舗を市ホームページに掲載、認証ステッカーを配布

#### ②認知症高齢者等事前登録制度（見守りオレンジシール）の推進

登録者数：221 名（R8年1月末時点）

#### ③認知症高齢者等個人損害賠償保険事業の推進

事前登録者の中で保険加入を希望する方を対象に、踏切事故、交通事故等で他者に負わせた損害を補償するもの。（保険加入者：212 名（R8年1月末時点））

### (3) 認知症施策推進基本計画の策定準備

- ・市町村認知症施策推進基本計画の策定に向けた実態調査を実施
- ・当事者及び家族の意見を聴く取組を推進

## 3 令和8年度 今後の取組

### (1) 認知症の正しい理解、知識の普及啓発の強化

#### ①認知症サポーター養成講座

- ・集合型講座の定期開催（年3回予定）
- ・企業向け講座の推進

#### ②認知症サポーター、キャラバン・メイトのフォローアップ

- ・キャラバン・メイト連絡会において、キャラバン・メイト同士の地区内のつながりを深め、各地区での活動について考える。

### (2) 本人、家族への支援

#### ①認知症当事者、家族の交流の場の周知

- ・市外医療機関に認知症カフェや家族交流会等の情報を提供

#### ②「認知症の人に優しいお店」認定制度の普及啓発

③認知症当事者へ診断直後の支援方法の検討

(3) 認知症施策推進基本計画の策定

「第 11 次高齢者保健福祉計画・第 10 期介護保険事業計画」（計画期間：令和 9 年度～ 3 年間）と一体的に基本計画を策定する。